

SJクイズ

[問題編]

- Q1** クルマが40km/hでコンクリートの壁に衝突した場合、乗員には自分の体重の約何倍以上の力がかかると言われているでしょうか？



- ①約5倍 ②約10倍 ③約20倍 ④約30倍

- Q2** 平成21年中の自動車乗車中のシートベルト（チャイルドシートを含む）着用有無別の致死率を座席位置別にみると、後部座席において非着用者の致死率は着用者の約何倍でしょうか？

- ①約2.8倍 ②約3.8倍 ③約4.8倍 ④約5.8倍

- Q3** 平成22年の警察庁とJAFによる調査で、一般道において後部座席同乗者のシートベルト着用率は何%だったでしょうか？



- ①約33% ②約50% ③約66% ④約90%

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL: 03 (5412) 1736



Q1 解答 ④約30倍

<解説>

クルマが40km/hでコンクリートの壁に衝突した場合、乗員には自分の体重の約30倍以上の力がかかると言われている。つまり、自分で自分の身体を支えることはできない。そのため、前席でも後席でもシートベルトの着用する必要がある。

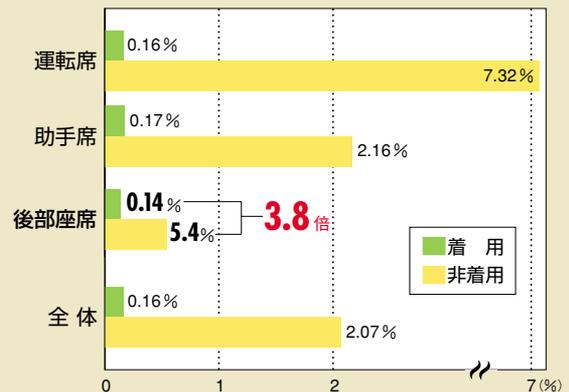
また、車内で子どもを抱っこしている場合も、保護者は子どもの体重を支えられないので、必ずチャイルドシートを利用しなければならない。

Q2 解答 ②約3.8倍

<解説>

自動車乗車中のシートベルト（チャイルドシートを含む）着用有無別の致死率をみると、非着用者の致死率は着用者の0.16%に対して13倍以上の2.07%となっており、これを座席位置別にみると、運転席：47.1倍、助手席：12.5倍、後部座席：3.8倍となっている。このように、どの席でもシートベルトの着用が乗員の被害拡大を少なくすることにつながる。

●座席位置別・シートベルト着用有無別致死率（平成21年中）



Q3 解答 ①約33%

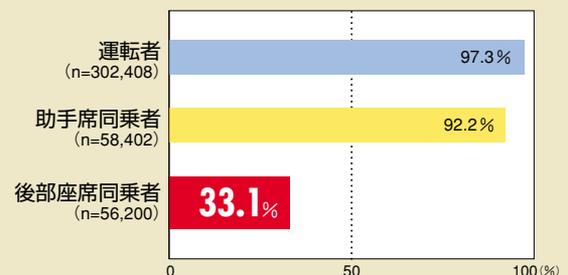
<解説>

平成22年10月1日から10日にかけて実施された、警察庁とJAF（社）日本自動車連盟）との合同による「シートベルト着用状況全国調査」によれば、後部座席同乗者のシートベルト着用率は33.1%で前年より0.4ポイント低下した。

前席でも後席でも万一の際の被害は変わらない。自分自身や同乗者の命を守るためにも全ての席でシートベルトを着用する必要がある。

※調査は一般自動車道全国779カ所、高速自動車道等全国104カ所で、「営業用プレートの車両、外部に荷台を有する貨物車（含む軽四貨物）」を除く車両に乗車している人を対象としている。

●一般道におけるシートベルト着用状況調査結果



【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL: 03 (5412) 1736